

視野拡大リハビリ支援ソフトの開発

研究概要

脳梗塞や脳卒中などの後遺症の中でも、視野に関する後遺症として半側空間無視、同名半盲があり、これらは日常動作の自立を阻害する大きな要因となっています。

本研究では、これらの患者のための「視野拡大リハビリ支援ソフトの開発」に関する研究を行っています。本リハビリ支援ソフトは、タッチパネルを用いて、ランダムに並んだ数字や平仮名などの画像を順番に押していくものです。リハビリ効果の評価方法としては、全ての画像を押すまでの時間やそれぞれの画像を押すまでにかかった時間を計測しています。また、視線計測を行うことで、患者の病状をより詳しく調べようと考えています。

機能

- 数字や文字の画像をランダムに表示する。
- 数字や文字を順番にタッチする。
- 見えにくい場所の場合は、タッチすべき画像まで視点を誘導する。
- 難易度変更で、画像の枚数や種類、画像消去の有無等の設定を変更できる。

注視点算出実験



リハビリ支援ソフト



企業メリット 視野拡大リハビリ支援, 視線計測

キーワード リハビリ, 視線計測

- 主要な研究テーマ
- ・ 視野拡大リハビリ支援ソフトの開発
 - ・ 簡易視線計測システムの開発, 簡易脳波計を用いたBCIシステムの開発
 - ・ メンタルケア-小型アンドロイドの開発

技術相談に応じられる分野

- ・ 簡易視線計測システム, 計算機シミュレーション

利用可能な装置等

- ・ 特になし

所属学科 : 電気電子工学科 職名 : 准教授
氏名 : 今村 成明 Imamura Nariaki
TEL : FAX :
E-mail : n-imamu@kagoshima-ct.ac.jp
所属学会 : 電子情報通信学会、応用物理学会
研究分野(専門分野) : 医療福祉工学、計算機シミュレーション